

あなたにとっての2010年はどんな年でしたか？

みのり 農の里 2010

主な出来事つづり

1月	上厚真市街地で厚真消防団と消防署厚真支署の合同出初め式(6日)、成人者47人が出席し第62回町成人式を挙(10日)、第3回あつま国際雪上3本引き大会(24日)
2月	スターフェスタ2010「第11回冬の花火大会・『寅』の干支文字焼き」がこぶしの湯あつま周辺、2010光のページェント「第10回ランタン祭り」が厚真川河川敷で行われる(3日)、スタードームで室内ソフトボール大会(15~18日)
3月	「食の工夫展」JAとまこまい広域女性部厚真支部が総合福祉センターで開催(4日)、平成22年第1回定例町議会が開会(9日)、女子サッカーアドゥーマ激励会(21日)
4月	ライオンズクラブが上厚真に今年も100匹のこのぼりを掲揚(20日~)
5月	軽舞小学校で閉校年記念植樹会としてエゾヤマザクラ23本を校舎周辺に植樹(21日)、富里の石井勉さんの水田で「御田植祭」が行われる(28日)
6月	宇隆の環境保全林で「町民植樹祭」を開催(5日)、平成22年第2回定例町議会が開会(8日)、第38回田舎まつり前夜祭・本祭が口蹄疫のため中止に
7月	「グルメと婚活よくばりツアー」を初開催(10~11日)、昨年に引き続きATV(4輪バギー)の全日本大会が浜厚真オフロードパークでバトルを展開(18日)
8月	第10回集まりンピック(第45回町民体育祭)がかしわ公園野球場で開催(22日)、忠魂碑を厚真神社境内からつたえり公園に移設(24日)、町戦没者追悼式がおごそかに総合福祉センターで開催(30日)
9月	平成22年第3回定例町議会が開会(9日)、町敬老会が総合福祉センターで開催。シルバー247人が出席(12日)町制施行50周年記念式典を挙(23日)
10月	第11回健康ふれあいマラソン大会で126人が完走(12日)、厚真塊打太鼓15周年記念祝賀会を挙(16日)、富野小学校閉校記念碑除幕式を挙(24日)
11月	町文化祭が総合福祉センター、厚南会館などを会場に行われる(3~4日)、姉妹都市の岩手県奥州市議会など視察来町(19日)
12月	恒例の歳末チャリティー不用品即売会・演芸大会が総合福祉センターで開催(1日)、交通安全・防犯町民集会在総合福祉センターで(8日)、平成22年第4回定例町議会が開会(16日)

御田植祭(5回目)で豊穣の秋を祈る
石井勉さん(富里)の水田で、宮中行事の新嘗祭に奉納する米の栽培に向け、「御田植祭」を行いました。水田の横に祭壇が設けられ、玉串を捧げるなどの神事に続き、関係者がゆめびりかの苗を肅々と手植えました。
【5月28日】



「グルメと婚活よくばりツアー」が初めて企画され、行われました。札幌・苫小牧、町内などから計49人が参加。収穫体験やバーベキュー、ミニバレーなどを楽しみながら、最後にはひと組のカップルが誕生しました。
【7月10~11日】



あつままくらぶ「もぎたて市」多彩な交流がひろがる
農家の主婦5人で構成するあつままくらぶの「もぎたて市」が、今年も6月にオープンしました。毎週木曜日、正午のサイレンと同時に買い物客で会場は長蛇の列。最終日には、おにぎりや豚汁が振まわれ、来場者は笑顔で食事を楽しみました。
【9月30日】



111富野小で閉校記念碑除幕式
来年3月に閉校を迎える富野小で10月24日、文化祭に合わせ閉校記念碑除幕式が行われました。在校生や教職員をはじめ、同窓生や来賓など約100人が参列。関係者は、尽きない学び舎の思い出を語り合っていました。
【10月24日】



藤原前町長に名誉町民の称号
厚真町制施行50周年記念式典で、前町長の藤原正幸さんに名誉町民の称号が贈られました。
藤原さんは、平成4年7月に厚真町長に初当選以来4期16年にわたり、町民の生活環境の向上に尽くされ、さらに教育社会の振興、福祉の増進、各種交流事業の推進など、町制と地方自治の発展伸張に大きく貢献されました。
【9月23日】

町制施行50周年記念式典
町制50周年記念式典が9月23日、総合福祉センターで行われ、町内外から約200人が出席しました。名誉町民の贈呈式や平成22年度町表彰、厚高3年生による町民憲章の朗読、アトラクションの幌内神楽などを通し、半世紀の節目を盛大に祝いました。祝賀会では、オール厚真産の料理が振舞われ、町制50周年に花を添えました。
【9月23日】



町民植樹祭を盛大に開催
宇隆の環境保全林で6月5日、町内各団体の関係者や一般参加の町民など約80人が、町制50周年を記念した「町民植樹祭」に参加しました。ニトリ北海道応援基金の支援を受け、約0.2畝にミズナラの苗木1240本を植樹。後日、一般公募で名称を募り同地を「君達の森」と名付け、町の財産として管理し未来に残していきます。
【6月5日】

子どもたちは日々成長し少しずつそして確実に大きくなっていく。

その成長で歳月の経過を感じる大人たち。心も体も大きく育て厚真っ子。

